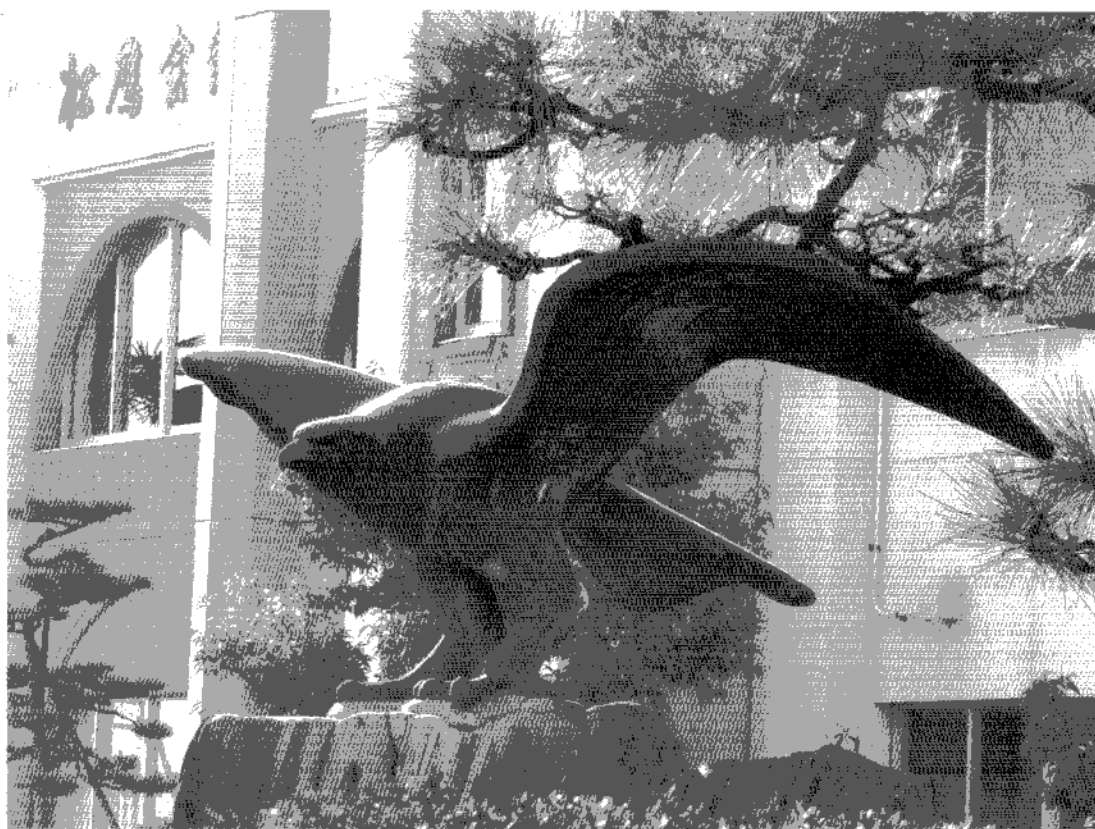


為 敢



2019

創立110周年記念誌

砺波中学校
砺波高等学校

礪波同窓会

校 訓

道義為之根
 質実剛健
 自彊不息
 進取而敢為



砺波中学校校章



砺波中学校校旗

砺波中学校校歌

吉波 彦作 作詞
 相場 御風 校訂
 片山 穎太郎 作曲

- 一 碧流雄神水清く
 波澎湃の北海に
 注ぐ不断の努力こそ
 希望の岸に漕ぎ行かむ
 吾等の強き舵なれや
- 二 峻嶺礪波空高く
 巍然と立ちて旭日に
 輝く剛毅の氣象こそ
 理想の高嶺に分け登る
 吾等の貴き旌なれや
- 三 向上一路いざやいざ
 道義の根ざしいや固く
 常盤の森の鷹栖の
 雄々しく高き校風を
 誓ひて樹てむもろともに

(昭和6年制定)



砺波中学校正門

どうぎこれこんたり
 道義為之根

しつじつごうけん
 質実剛健

じきょうやまず
 自彊不息

しんしゅにしてかんい
 進取而敢為

人として踏み行ふべき道である「道義」を最も大切に行動すること

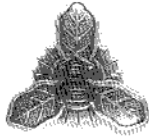
外面を飾り立てることなく、心身ともに内なる強さを身につけること

自ら努め励み、怠ることのないこと

自ら進んで物事に取り組み、困難に屈しないでやり通すこと

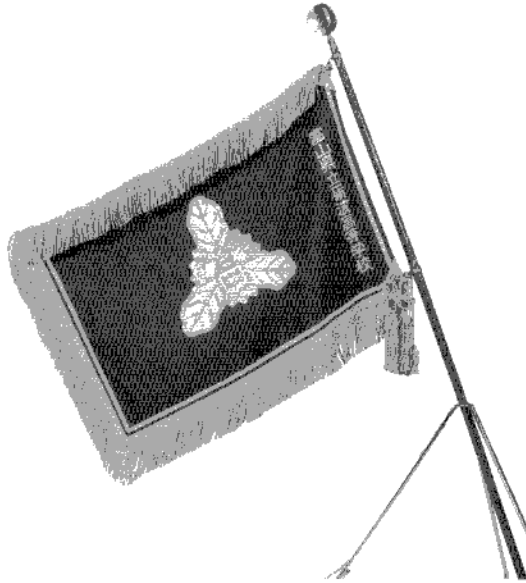


S23.4~9



S23.12~

砺波高等学校校章



砺波高等学校校旗

目次

page

1	巻頭言
3	特別寄稿
5	写真で見る百年史
9	百周年記念事業
11	この10年のあゆみ
39	礪波同窓会
43	時代をつなぐ

砺波高等学校校歌

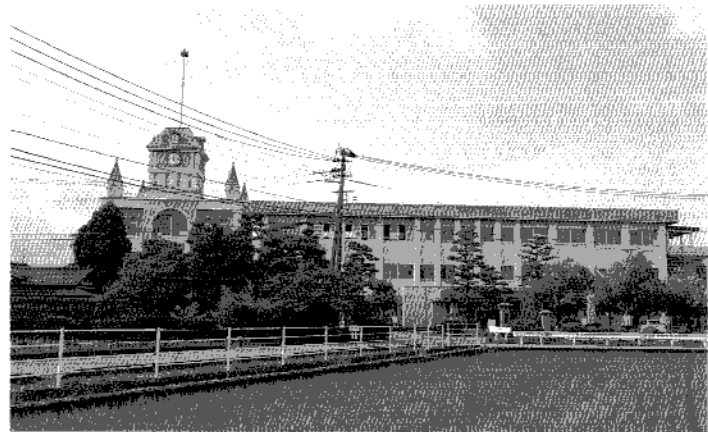
室生 犀星 作詞
弘田龍太郎 作曲

遥かなる砺波野に
学びの夜は明けそめぬ
まだ静謐の 波
めぐみふかく母校をひたす

あめつちにあふるるものよ
われらの若さよ
わかさのかがやきよ
尋ねゆき まなびはげまむ

立山の鋒立ちそひ
歴史は栄えを翳す
われらまなざしを擧げ
師と母校とをたたへん

(昭和25年10月21日制定)



砺波高等学校校舎前景

題字 同窓会長 新納 耕一 (高12回)

表紙 「空を積む」

金沢美術工芸大学教授

大森 啓 (高35回)

写真で見る百年史

昭和24年(1949年)

- 3月10日 出町高等学校第1回卒業式
- 10月10日 生物準備室から出火、本館・教室・講堂等焼失

昭和25年(1950年)

- 4月 1日 新校舎敷地、太郎丸鍋島1313番地に決定
定時制普通科(夜間部)を設置、出町図書館で授業開始
- 10月21日 新校歌制定披露(作詞 室生犀星、作曲 弘田龍太郎)
- 12月15日 新校舎起工式

昭和26年(1951年)

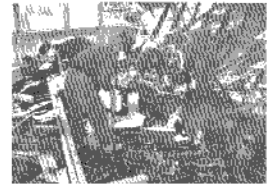
- 4月 砺中同窓会と出町高校同窓会が合併し、砺波同窓会となる
- 9月12日 若林分校(農業・農村家庭科)設置、第2、3学年、定時制は新校舎で授業開始、第1学年は鷹栖校舎で授業継続
- 12月20日 新校舎竣工式、全生徒新校舎で授業開始

昭和27年(1952年)

- 3月10日 出町小学校で卒業式、本校で定時制課程第1回卒業式



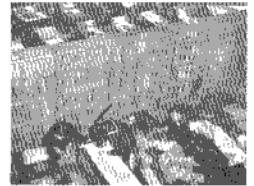
炎上する校舎



焼跡整理作業



定時制夜間部の授業



授業風景(武道場を間切りして行われた)

第V期 昭和中期～昭和後期

新生

新生 砺波高等学校の時代

1952~1978 昭和27年4月▷昭和53年12月

昭和27年(1952年)

- 4月 1日 砺波町の誕生に伴い、「富山県立砺波高等学校」と改称

昭和28年(1953年)

- 3月31日 砺波・高波両分校廃止
- 4月 1日 再認可
- 6月11日 新校舎総合落成式

昭和30年(1955年)

- 4月 若林分校(農村家庭科)廃止

昭和31年(1956年)

- 3月31日 林分校廃止

昭和32年(1957年)

- 4月16日 第二講堂落成

昭和33年(1958年)

- 3月31日 鷹栖・高波両分校募集停止
- 4月 1日 工業科新設、全日制戸出分校(家庭科)新設

昭和34年(1959年)

- 2月 女子生徒制服制定
- 9月20日 創立50周年記念式典挙行
- 10月 1日 鷹栖・高波両分校廃止

昭和35年(1960年)

- 4月 1日 戸出分校は富山県立戸出女子高等学校として独立
若林分校は富山県立石動高等学校へ移管

昭和37年(1962年)

- 3月31日 工業科募集停止
- 4月 1日 工業科の第2、3学年は新設の砺波工業高等学校へ移籍
東般若分校廃止
- 12月 若鷹の像建立



普通科の授業



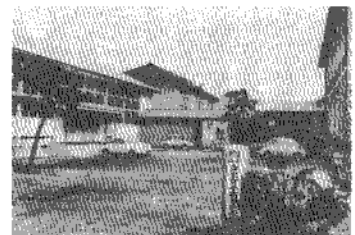
工業科の実習



商業科の授業



若鷹の像建立(現校舎正面に設置)



戸出分校は「戸出女子高校」として独立



当時の砺波高等学校

東京礪波同窓会 幹事長 廣 勢 哲 久 (高20回)

東京礪波同窓会は旧制礪波中學校同窓会の東京支部として昭和4年に発足以来、東京およびその近県に在住の旧制礪波中學校・富山県立礪波高等学校同窓生の交流の場として活動を続けてきました。その活動は、先の太平洋戦争や3.11東日本大震災等の大事が有った際にも中断することなく、節目となる平成30年の第90回目の定期総会・懇親会も綿貫民輔顧問(中32回)の講演や地村弘二さん(高43回)の講演があり、懇親会では関東富山県人五箇山会による麦屋節とこぎりこ節が披露され、盛んに執り行われました。そして、今年の4月には第91回目の定期総会・懇親会も無事に開催されました。

礪波同窓会東京支部としての東京礪波同窓会の十年間を振り返ると、定時総会・懇親会参加者数の総数としては70名程度を推移しており、同窓会としての活動を維持できている状況ですが、定時総会・懇親会に参加される旧制礪波同窓生の方の参加者数が急激に減少していることと会員名簿登録者数が減少しているという懸案事項があります。

今後は、若い学年幹事の方の数を増やすようにすると共にSNSを活用した取り組みによって定時総会・懇親会の参加者数を増やすようにしたいと考えています。



支部	支 部 長	卒業回	会員数
小矢部	宇佐見 外行	高8回	1,375
	土田 貴 H30～	高22回	
高岡	山井 佳夫	高17回	1,762
戸出 ・ 中田	松嶋 敏弘	中31回	943
	吉田 彦夫 (代行)H24～	中35回	
	武部 和浩 H28～	高15回	
射水	菊池 政八	中37・高3回	405
	石黒 信二 H31～	高12回	
富山	黒田 康郎	中33回	581
	杉木 正幹 H22～	高5回	
	川岸 広幸 H30～	高23回	
東京	内田 良昭	中36・高2回	1,820
	砂山 敏二 H22～	高5回	
	中村 義春 H26～	高14回	
	橋本 浩 H30～	高18回	

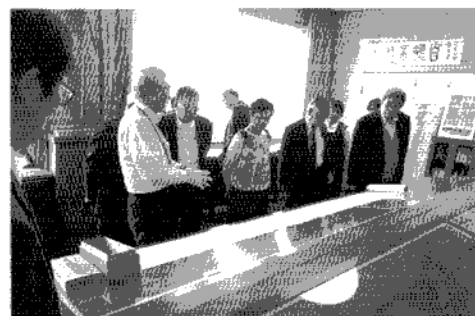
(会員数はR1.6.20現在)

*近畿支部・石川支部は活動休止中。

講演(会場:サンケイプラザ)	
第81回 H21	「国際報道の現場から」 太田 昌克氏(高39回)
第82回 H22	「研究と研究者教育」 百生 敦氏(高33回)
第83回 H23	「カナダと私」 清原 史朗氏(中38回)
第84回 H24	「シャルトル大聖堂の北薔薇窓-母子像の意味するもの-」 高野 祐子氏(高23回)
第85回 H25	「人の成長とスポーツマネージメント」 畑 攻氏(高22回)
第86回 H26	「『3.11』が照射した日本の現実-報道現場から民主主義の今後を考える-」 太田 昌克氏(高39回)
第87回 H27	「『老いてもYOUNG』～アニメと共に50年」 木田 保則氏(高14回)
第88回 H28	「テレビドラマが僕の人生を変えた」 山室 大輔氏(高45回)
第89回 H29	「礪波を後にして55年、弁護士45年、老いても、なかなか…」 米林 和吉氏(高14回)
第90回 H30	「私の健康法」 綿貫 民輔氏(中32回)
	「ヒトの柔軟な心を理解する脳の科学」 地村 弘二氏(高43回)
第91回 H31	「誰も知らない職業を作って世界一になるまでの短い話」 吉藤 智広(高51回)



▲茶会で一服



▲鷹匠縁起書の解説に傾聴

砺高祭を訪ねて 富山支部 H30.10.2

礪波同窓会

礪波支部会

地元の思い

礪波支部長 平田 堯美 (高17回)

百周年以降、礪波支部は支部長をはじめ役員体制を定期的に交代しながら、会員の活動として「役員総会・会員スピーチ」を平成28年度以降、6月初旬に開催月を変更し実施しています。今年の参加者は41名で、6月1日(土)「草の家」で開催しました。総会に続き、講師を平木 弘様(高17回・富山県警に41年勤務・瑞宝双光章叙勲)をお願いして「41年、この道一筋」の演題で、警察官としての生活や働きぶりを講演いただきました。力強く、ユーモア溢れるお話に、会員は笑いと共に聞き入り、同窓生として感動と嬉しさで大きな拍手で終わりました。その後、懇親会を開き高6回～30回までの会員が、近況や思い出を話ながら、楽しい時間を過ごしました。

さて、礪波支部は地元ということもあって、現在4,111名と会員数が一番多く、礪波同窓会の事業への協力や学校行事への積極的な参加を口指しています。また、高校の建物も目にはいり、近隣では生徒から「こんにちは」と声をかけられ、清々しい気持ちになります。1つの行政区なので、団塊の世代までは会員の姓を聞けば、あの地区かなと予想ができますし、卒業回にかかわらず会うこともしばしばです。

現役員、理事の方々が卒業した頃の校舎とは変わっていますが、正門や生徒の姿、挨拶にふれると我が高校という変わらぬ思いが湧いてきます。今後も校風も変わることなく、県下の進学校として文武両道の在校生の活躍を願っています。



現役員体制 (H21～)

役職	氏名	卒業回
名誉会長	綿貫 民輔	中32回
顧問	岡部 昇栄 ~H30	中23回
	山本 修	高6回
会長	新納 耕一	高12回
副会長	神田五百美	高13回
	大島 肇一	高14回
	木村 宜彰	高14回
	川合 誠一	高24回
	福江 義彦	高27回
	河合 常晴 H30～	高35回
監事	上田 信和	高38回
	榎木 富夫	高11回
	井上 雅博 ~H24	高14回
	長井 宰 H25～	高18回

支部一覧

支部	支部長	卒業回	会員数
礪波	石崎 弘	中29回	4,111
	堀田 多聞 H22～	中38・併・高4回	
	高山 隼水 H25～	高8回	
	平井 宗寿 H27～	高10回	
	平田 堯美 H30～	高17回	
庄川	山森 一雄	高8回	436
	朝倉 康之 H30～	高27回	
福野	鍛冶 武二	高13回	757
	吉井 正和 H22～	高20回	
井波	高桑 哲夫	中34回	552
	玉井 紀一 H22～	高11回	
福光	榎木 富夫 H30～	高11回	1,120
	西尾 博 ~H31	中33回	
城端	山本 哲也	中35・高1回	531
	竹部 謙一 H24～H30	高12回	
	山下 明人 H31～	高19回	

砺波中学校・砺波高等学校応援歌

一 脈冴えて

一、一脈冴えて行く水に
たぎる力の溢れては
奔流雲を呼ぶぞかし
若き血を盛る双腕に
義憤の力ゆらく時
腥風起り鉄火飛ぶ

二、思ひぞ起す去年の春

鉄蹄遠く鞭あげて
風蕭々の胡沙深く
選手は入りぬ十四人
ああ健闘の夢のあと
勝鬨いよいよ高かりき

三、いざ戦はん光栄の

歴史をここに繰り返へす
今はた天の時は来ぬ
地も秀麗の砥並野に
朱鞘くの目釘しめす時
選手の胸は躍るかな

四、思ひは同じ我人が

そうどき渡る身のうずき
湧き立つ心諸声に
歌ひて栄えも鷹栖の
緑の森の朝風に
桂かざさんいや高く

(昭和七年改作以前のもの)

一 脈冴えて

一、一脈冴えて行く水に
たぎる力の溢れては
奔流雲を呼ぶぞかし
若き血を盛る双腕の
義憤の意気に燃ゆる時
腥風起り鉄火飛ぶ

二、いざ戦かはん光栄の

歴史をここに繰り返す
今はた天の時は来ぬ
地も秀麗の砺波野に
征旗を高く揚ぐる時
選手の胸は躍るかな

三、嗚呼必勝を誓ひつゝ

いでたつ雄姿に吾人が
湧き立つ心諸声に
歌ひて栄えも砺波野の
緑の森の朝風に
桂かざさんいや高く

(昭和七年制定)

臥薪嘗胆

一、臥薪嘗胆幾度か
年を重ねて今日ここに
新興気鋭の我等が選手
鉄腕振う時は来ぬ

二、あゝ戦いは今なるぞ

霸権を握るは今日なるぞ
霸氣におのゝく腕を賦して
挙げよ勝利の勝鬨を



東の山

東の山に
昇る朝日は
母校の勝利

西の谷に
沈む夕日は
他校の敗北

北の空に
輝く北斗は
母校の栄冠

南の峰に
消える暁は
他校の敗戦

ここで鍛えし
自慢の鉄腕

今こそ試さん
日頃の錬磨

がんばれ砺波
ファイトだ砺波
レッツゴー砺波

編集後記

このたび、多くの方のご協力をおもなして、富山県立砺波高等学校創立110周年記念誌「敢為」を皆様にお届けできますことを、心より嬉しく思います。

本校が明治42(1909)年4月に富山県立砺波中学校として創立されてから、今年で110周年を迎えました。創立以来、時代の流れとともに校名や学科など幾多の変遷がありましたが、良き伝統を継承し、今日まで着実に発展を遂げてまいりました。この間、多くの俊秀を世に輩出し、同窓生の方々が様々な分野で活躍されていることは誠に喜ばしい限りです。

この記念誌の「敢為」は校訓の一つである「進取而敢為」より取りました。社会が大きく変わろうとしている今こそ、不易流行を旨としながら、大いにチャレンジ精神を発揮してゆきたいと思います。今回は、創立百周年以降の最近10年間の砺波高校生の多様な学びの記録を中心に、110年の歴史を俯瞰できるように編集いたしました。また、各界で活躍されている方々からのメッセージ、さらに、本校が所蔵する写真や記録も併せて掲載いたしました。

大変お忙しい中、資料の提供や執筆をいただいた皆様、また、編集、校正、印刷等に格段のご協力を賜った多くの方々に、この紙面をお借りして感謝の意を表します。

本校のさらなる発展を心から祈念して編集後記といたします。

編集委員 委員長 木村 宣彰
副委員長 清水 卓
神田五百美 山本 哲也 新藤 正夫
永井 敏美 中葉 博文 野村 伸 河原 文恵

発行 令和元年10月25日
編集人 創立110周年記念誌編纂委員会
発行人 富山県立砺波高等学校
砺波同窓会
富山県砺波市東幸町3番36号
印刷所 株式会社吉田印刷所
富山県砺波市表町9番1号